

地球の叫び

オペラ

作・台本 丹治富美子

作曲 富貴晴美

指揮 下野竜也

演出 岩田達宗

出演

小太郎 小堀勇介

夕月姫 迫田美帆

吾嬬重藤 黒田博

八重 澤畑恵美

志斐 中島郁子

黒姫 向野由美子

村長 久保田真澄

みづち 伊藤貴之

合唱 日本オペラ協会合唱団

管弦楽 日本センチュリー交響楽団

自然の営みの中で生きることを遠ざける  
文明のあり方を憂い、警鐘を鳴らす思いの限り  
総合芸術であるオペラに託したものである。

2025年6月28日(土) 開場13:15 開演14:00 | 29日(日) 開場14:15 開演15:00

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール

主催/いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト実行委員会 後援/滋賀県  
制作協力/株式会社ナスタフ、公益財団法人日本オペラ振興会、株式会社AMANT  
高尾/株式会社東京青島

地球環境を脅かす現代文明への警鐘を託した  
地球の叫び オペラ「みづち」

「みづち」とは

「み」は水を表し、「つ」は現代語では「の」を表す助詞である。  
「ち」は土であり、「みづち」は「水の精霊」。

このオペラの中では「みづち」は水を司る自然界の神と位置付け、  
神の「みづち」は助けなど必要としないが、助け出されるというプロセスにおいて  
慈かな私たちに身を呈して、自らの足元に穴を開けているような  
文明の図式を気づかせようとしているのである。  
「みづち」が千年もの昔から、二千年の私達に警告を発していたにもかかわらず、  
気づかずにいた私達が、今悔恨の思いを込めて、三千年への未来に向け、  
メッセージを送る役割を果たせたらと思う。  
～「みづち」種想 丹治富美子より

STORY

舞台はおよそ千年の昔  
平和な村を襲った日照り、大地は割れ、草木は枯れ、村は死にかける  
不思議な老人の話を頼りに、村を救うため一人の若者が旅立つ。若者の名は小太郎

深い沼の底に住み、雲を呼び雨を降らし民を見守る伝説の神「みづち」  
「みづち」を求める苦しげな小太郎の旅 鳥に導かれ 出会った黒姫から、  
「みづち」が自分のところだけに雨を降らせようとたくらむ押黒族に捕らえられていることを聞き  
救出の方法を教えらる

力を貸してくれるという吾嬬重藤を訪ね、重藤の娘 美しき聡明な夕月姫と出会う  
二人は互いに惹かれあい将来を誓う

押黒族との激戦は続き、ついに小太郎たちは「みづち」が捕らえられている洞穴を発見する  
小太郎は傷つき弱っていた「みづち」を水溜の衣で包み 大音響とともに「みづち」が一瞬その姿を見せる

あたりに響く天の声 自然の営みを破壊してはならぬ ふるを守り 自然を育み 共にあることを  
子々孫々にまで伝え続けていくことを諭すのであった

作・台本 丹治富美子 Fumiko TANJI

作曲 富貴晴美 Harumi FUUKI

指揮 下野竜也 Tatsuya SHIMONO

演出 岩田達宗 Tatsuya IWATA

小太郎 小堀勇介 (アノール)

夕月姫 迫田美帆 (ソプラノ)

吾嬬重藤 黒田博 (バリトン)

八重 澤畑恵美 (ソプラノ)

志斐 中島郁子 (メゾソプラノ)

黒姫 向野由美子 (メゾソプラノ)

村長 久保田真澄 (バス)

みづち 伊藤貴之 (バス)

合唱 日本オペラ協会合唱団 管弦楽 日本センチュリー交響楽団

2025年6月28日(土) 開場13:15/開演14:00 | 29日(日) 開場14:15/開演15:00

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール 滋賀県大津市打出浜15-1

【料金(全席指定・税込)】SS席13,000円 S席11,000円 A席8,800円 B席7,700円 学生席3,000円

先行受付 2月22日(土)10:00- 一般発売 3月15日(土)10:00- 東京公演 オンライン

チケットぴあ 7-707-28844

イーブクス

ローソンチケット 1-677-53117

～いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト～

地球沸騰の危機から未来にいのちを繋いでいくためには、日本国内の河川流域の連携と結束が不可欠です。  
森里川海は互いにつながり、影響し合って恵みを生み出し、循環しています。  
森里川海をつなぎ、支えることで、「三千年の未来」へ地球と人々の暮らしをつなげていくための取り組みを【Glocal SDGs / 流域の地域循環共生圏】として国内外に発信します。  
日本の文化として古くから培われた「祭り」や「神楽」は、天変地異や感染症に多くの命を失った恐怖から平癒への祈りとして捧げられてきた歴史があり、日本の伝統文化、芸術を国内外に伝えることも、未来へのいのちを繋ぐ大切な取り組みのひとつです。  
上昇を続ける海水温による異常な暴風雨に直面する現在の危機的状況から、水の大切さ、美しきふるさとを願うメッセージが込められた地球の叫び「オペラ「みづち」」は本プロジェクトの取り組みの象徴として、より多くの皆様にお届けしたいメッセージが込められています。

夕すげの咲く湖のほとり  
つづらなる  
君待ちたまふ  
眼裏のふるさと遠く  
いくたびか心さまよふ  
美しきふるさと  
いつの日か  
我帰らざらむ  
美しきふるさと

丹治富美子作  
歌劇みづちより

オペラ「みづち」をより理解するための企画 第1回 Glocal SDGs フォーラム

地球の叫び「オペラ「みづち」」の上演とあわせて、第1回 Glocal SDGs フォーラムを開催し、びわ湖・淀川流域、岡山県の高梁川流域、そして、富山県の庄川・小矢部川流域の取り組みのご紹介などを通じて、【Glocal SDGs / 流域の地域循環共生圏】の輪を広げるためのネットワーク構築を予定しています。  
さらに、びわ湖・淀川の自然・文化・利水・治水・農業・漁業などの取り組みを体験いただくエクササイズ企画も計画しています。世界有数の古代湖・びわ湖は、「Mother Lake 琵琶湖」と称され、大阪、京都に流れ、大阪・関西万博会場の夢洲につながる水の旅をご期待ください。

6月28日(土) エクササイズ  
6月29日(日) [午前] 第1回 Glocal SDGs フォーラム

詳細はHPにて発表予定

【共同主催】環境省、公益財団法人三千年の未来会議、いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト実行委員会  
【協賛】ローカルサミット事務局、GTF グレーターフォークウェストリアル実行委員会、農林部広域防災委員、バージョン協会、S&G あくねまち南信クラブ  
【お問合せ】いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト実行委員会 info@life-earth-future.com